

証券コード4290
(発送日) 2023年6月7日
(電子提供措置の開始日) 2023年5月31日

株 主 各 位

東京都千代田区麹町二丁目4番地1
株式会社プレステージ・インターナショナル
代表取締役 玉 上 進 一

第37回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第37回定時株主総会を下記により開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の以下の各ウェブサイトに掲載しておりますので、いずれかのウェブサイトアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

【当社ウェブサイト】

https://www.prestigein.com/IR/stock/stock_meeting.html



【株主総会資料 掲載ウェブサイト】

<https://d.sokai.jp/4290/teiji/>



【東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）】

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

(上記の東証ウェブサイトアクセスいただき、「銘柄名(会社名)」に「プレステージ・インターナショナル」又は「コード」に当社証券コード「4290」を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」欄よりご確認ください。)



なお、当日ご出席されない場合は、以下のいずれかの方法によって議決権を行使することができますので、お手数ながら株主総会参考書類をご検討のうえ、2023年6月21日（水曜日）午後6時までに議決権を行使してくださいませようお願い申し上げます。

[書面（郵送）による議決権行使の場合]

議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、上記行使期限までに到着するようご返送ください。

[インターネット等による議決権行使の場合]

後記の「インターネット等による議決権行使のご案内」をご覧のうえ、当社指定の議決権行使ウェブサイト (<https://soukai.mizuho-tb.co.jp/>) において、「議決権行使コード」及び「パスワード」をご利用いただき、画面の案内に従って議案に対する賛否を上記行使期限までにご入力ください。

敬具

記

- | | | |
|-----------------|---|--|
| 1. 日 | 時 | 2023年6月22日（木曜日） 午前11時
受付開始 午前10時30分
今回の定時株主総会は、開催時刻が前回と異なりますので、お間違えのないようご注意ください。 |
| 2. 場 | 所 | 富山県射水市黒河846-1
当社 富山BPOタウン トレーニングルーム
会場が前回と異なっておりますので、末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照いただき、お間違えのないようご注意ください。 |
| 3. 目的事項
報告事項 | | 1. 第37期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第37期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）計算書類報告の件 |
| 決議事項 | | |
| 第1号議案 | | 定款一部変更の件 |
| 第2号議案 | | 取締役6名選任の件 |
| 第3号議案 | | 監査役3名選任の件 |

4. 招集にあたっての決定事項

(1) 書面交付請求をいただいた株主様には、電子提供措置事項を記載した書面をあわせてお送りいたしますが、当該書面は、法令及び当社定款第15条の規定に基づき、次に掲げる事項を除いております。

- ①事業報告の「新株予約権等の状況」「業務の適正を確保するための体制及び運用状況の概要」
- ②連結計算書類の「連結株主資本等変動計算書」「連結注記表」
- ③計算書類の「株主資本等変動計算書」「個別注記表」
- ④監査報告の「連結計算書類に係る会計監査報告」「計算書類に係る会計監査報告」「監査役会の監査報告」

したがいまして、当該書面に記載している事業報告、連結計算書類及び計算書類は、会計監査人が会計監査報告を、監査役が監査報告を作成するに際して監査をした対象書類の一部であります。

- (2) 書面（郵送）により議決権を行使された場合の議決権行使書において、議案についての賛否の表示がない場合は、賛成の表示があったものとしてお取り扱いいたします。
- (3) インターネットにより複数回、議決権を行使された場合は、最後に行われた議決権行使を有効なものとしてお取り扱いいたします。
- (4) インターネットと書面（郵送）により重複して議決権を行使された場合は、到着日時を問わず、インターネットによる議決権行使を有効なものとしてお取り扱いいたします。
- (5) 代理人により議決権を行使される場合は、議決権を有する他の株主の方1名を代理人として株主総会にご出席いただけます。ただし、代理権を証明する書面のご提出が必要となりますのでご了承ください。

以上

~~~~~  
当日ご出席の際は、お手数ながら議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

電子提供措置事項に修正が生じた場合は、1ページに記載のインターネット上の各ウェブサイトにおいて、その旨、修正前及び修正後の事項を掲載いたします。

<http://www.prestigein.com/>  
(URLまたはQRよりアクセスすることも可能です。)



# インターネット等による議決権行使のご案内

## 1. インターネット等による議決権行使について

- (1) 書面による議決権行使に代えて、当社指定の「議決権行使ウェブサイト」(下記URL)にて議決権を行使可能です。ご希望の方は、議決権行使書用紙に記載の「議決権行使コード」及び「パスワード」をご利用のうえ、画面の案内に従ってご入力ください。なお、セキュリティ確保のため、初回ログインの際にパスワードを変更いただく必要があります。

<https://soukai.mizuho-tb.co.jp/>

バーコード読取機能付きの携帯電話を利用して  
右記QRを読み取り、議決権行使ウェブサイトへ  
アクセスすることも可能です。



- (2) 行使期限は2023年6月21日(水曜日)午後6時までであり、同時刻までに入力を終える必要があります。お早めの行使をお願いいたします。
- (3) パスワード(株主様に変更されたものを含みます。)は今回の総会のみ有効です。次回の株主総会時は新たに発行いたします。
- (4) インターネット等の接続に係る費用は株主様のご負担となります。

(ご注意)

- ・パスワードは、投票される方がご本人であることを確認する手段です。なお、パスワードを当社よりお尋ねすることはありません。
- ・パスワードは一定回数以上間違えるとロックされ使用できなくなります。ロックされた場合、画面の案内に従ってお手続きください。
- ・議決権行使ウェブサイトは一般的なインターネット接続機器にて動作確認を行っておりますが、ご利用の機器によってはご利用いただけない場合があります。

## 2. お問い合わせ先について

ご不明点は、株主名簿管理人である

**みずほ信託銀行 証券代行部**までお問い合わせください。

【議決権行使ウェブサイトの操作方法等に関する専用お問い合わせ先】

フリーダイヤル **0120-768-524** (9:00~21:00)

(ご参考)

機関投資家の皆様につきましては、株式会社ICJが運営する議決権電子行使プラットフォームをご利用いただくことが可能です。

以上

(提供書面)

## 事業報告

( 2022年4月1日から  
2023年3月31日まで )

### 1. 企業集団の現況

#### (1) 当事業年度の事業の状況

##### ① 事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症との共存により社会経済活動の正常化が進み、緩やかな持ち直しの動きが継続しました。その一方で、世界的なエネルギー・食糧価格の高騰や金融引き締め等による景気後退懸念により、引き続き先行き不透明な状況が続いています。

国内BPO市場においては、深刻化する労働人口減少によるリソース不足や、多くの企業において働き方改革の推進を背景とした業務オペレーション見直し等により、ノンコア業務をアウトソースする動きが継続し、底堅い需要が市場拡大の追い風となっています。

このような環境のもと、当社グループにおいては、付加価値の高いサービスを提供するべく、デジタル技術の活用や高い専門性が求められるサービスを提供する優秀な人財を惹きつける職場環境の整備などに取り組んでおります。事業運営の中心を地方に置くことで、経営環境の変化に応じたサービス提供を確実に実行し、BPO市場の旺盛な需要に対応してまいります。2022年4月に開設した500席規模の秋田BPOにかほキャンパスは、新規業務を開始するなど事業の拡大に貢献しており、さらに2024年には岩手県一関市に500席規模、2026年には秋田県潟上市に800席規模のBPO拠点の開設を計画しております。今後も「継続的・安定的な成長」の実現を目指し、受託能力の向上を図ってまいります。

連結売上高につきましては、金融保証事業の堅調な成長に加え、グローバル事業の回復及びカスタマー事業の伸長等により対前年増収となり、売上高は54,562百万円（前期比16.7%増）となりました。営業利益につきましては、売上高の成長により7,840百万円（前期比14.6%増）となりました。経常利益につきましては、持分法による投資利益322百万円の計上により8,378百万円（前期比17.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は賃上げ促進税制の適用で税負担が減少し、5,318百万円（前期比22.1%

増)となっております。

引き続き、BPO拠点を事業運営の中心に据え「価値創造」に取り組み、社会的責任を果たすとともに、ステークホルダーとの良好な関係を構築し、皆様からのご期待に応えられるよう努めてまいります。

事業別では、主に損害保険会社や自動車メーカー向けロードサービス等を提供しているオートモーティブ事業は、ダイレクト系損保の契約台数増加に伴う手配件数増及び大手自動車用品量販店でのカスタマーサービス業務拡大が寄与し、増収となりました。営業利益につきましては、搬送距離や搬送比率の上昇によりコストが増加したものの、ロードサービス内製化の拡大により増益となりました。

分譲・賃貸マンション・戸建ての修繕とコインパーキングのメンテナンス等を提供するプロパティ事業は、ホームアシストでは、駆けつけサービス対象の会員数増加や保証料単価改定が寄与し、増収となりました。パークアシストでは、対応エリア及びカーシェア関連のサービス拡大が寄与し、増収となりました。営業利益につきましては、パークアシストにて事業地の拡大に伴い、拠点展開の初期投資、外部委託費用が増加し減益となりました。

海外旅行保険のクレームエージェント、駐在員向けの医療サポート（ヘルスケアプログラム）業務等を行うグローバル事業は、海外旅行保険付帯サービス及びヘルスケアプログラムにおける海外駐在員数、海外旅行者数の増加傾向に伴う利用者拡大、米国クレジットカード事業における利用金額増加及び円安が貢献し、増収増益となりました。

カスタマーサポートサービスを展開しているカスタマー事業は、自治体からのワクチン関連業務が下期も継続したことに加え、旺盛なアウトソーシング需要を受けて新規プロジェクト獲得、既存プロジェクト拡大により増収増益となりました。

家賃や医療費等、生活に関わる金融保証サービスを提供する金融保証事業は、子会社である株式会社イントラストが展開する家賃保証事業の契約者数が堅調に推移したことに加え、医療・介護費用保証事業の成長が継続し、増収増益となりました。

ITソリューションを提供するIT事業は、サプライチェーンマネジメントシステムやコンタクトセンター業務に関連するシステムの納品が進捗したため増収となりましたが、子会社の解散に伴いシステム開発に関する外販売上がなくなったことで、減益となりました。

女子スポーツチーム「アランマーレ」の運営、保育事業及び地方創生事

業を行うソーシャル事業は、保育事業における園児数増加、スポーツ事業におけるスポンサーや観客動員数増加が寄与し、売上高は増収、営業利益は赤字幅が縮小となりました。

② 設備投資の状況

当連結会計年度中に取得した主要設備の総額は2,497百万円で、その主なものは次のとおりであります。

|                |        |
|----------------|--------|
| 岩手BPOフォートレス建設費 | 903百万円 |
| 車両運搬具          | 208百万円 |
| プロパティ事業システム    | 220百万円 |

③ 資金調達の状況

当連結会計年度におきましては、新株予約権の行使により30百万円の調達をいたしました。

④ 重要な組織再編等の状況

該当事項はありません。

(2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

| 区 分             | 第34期<br>(2019年4月1日から<br>2020年3月31日まで) | 第35期<br>(2020年4月1日から<br>2021年3月31日まで) | 第36期<br>(2021年4月1日から<br>2022年3月31日まで) | 第37期<br>(当連結会計年度<br>(2022年4月1日から<br>2023年3月31日まで) |
|-----------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 売 上 高           | 42,377百万円                             | 40,617百万円                             | 46,744百万円                             | 54,562百万円                                         |
| 経 常 利 益         | 5,364百万円                              | 5,453百万円                              | 7,151百万円                              | 8,378百万円                                          |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 3,193百万円                              | 2,968百万円                              | 4,357百万円                              | 5,318百万円                                          |
| 1株当たり当期純利益金額    | 24円95銭                                | 23円18銭                                | 34円02銭                                | 41円62銭                                            |
| 総 資 産           | 42,891百万円                             | 46,755百万円                             | 54,028百万円                             | 60,273百万円                                         |
| 純 資 産           | 29,901百万円                             | 32,888百万円                             | 36,566百万円                             | 41,817百万円                                         |
| 1株当たり純資産額       | 220円65銭                               | 241円30銭                               | 268円86銭                               | 305円35銭                                           |

- (注) 1. 1株当たり当期純利益金額は、自己株式控除後の期中平均発行済株式数により算出しております。また、1株当たり純資産額は、期末発行済株式数から自己株式を控除して算出しております。
2. 1株当たり当期純利益金額と、1株当たり純資産額を除き、記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
3. 当社は、2019年10月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。第34期連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益金額及び1株当たり純資産額を算定しております。



### (3) 重要な子会社及び関連会社の状況

#### 国内子会社

| 名 称                      | 資 本 金       | 議決権比率   | 主 要 な 事 業 内 容                             |
|--------------------------|-------------|---------|-------------------------------------------|
| (株)プレステージ・コアソリューション      | 100,000千円   | 100.0%  | 国内BPO事業                                   |
| (株)プレステージ・グローバルソリューション   | 100,000千円   | 100.0%  | 海外BPO事業                                   |
| (株)プレステージ・ヒューマンソリューション   | 25,000千円    | 100.0%  | 人材派遣・人材紹介・教育研修                            |
| タイム・コマース(株)              | 100,000千円   | 100.0%  | IT関連サービス、<br>カスタマーコンタクトサービス               |
| (株)プレミアアシスト              | 100,000千円   | 100.0%  | ロードアシスタンスサービス、不動産向けサービス、<br>駐車場管理会社向けサービス |
| (株)プレミアアシスト・ネットワーク       | 50,000千円    | 100.0%  | ロードアシスト事業におけるネットワーク管理・<br>フランチャイズ運営       |
| (株)プレミアライフ               | 30,000千円    | 100.0%  | 賃貸家賃の保証及び収納代行                             |
| (株)イントラスト                | 1,045,155千円 | (56.8%) | 総合保証プログラムの企画、販売                           |
| (株)プレミアIT&プロセスマネジメント     | 51,000千円    | 100.0%  | クレームエージェントサービス、ヘルスケア<br>プログラムに関する査定業務     |
| (株)プレミア・クロスバリュー          | 60,000千円    | 66.7%   | インターネット等各種通信インフラを利用した<br>販売促進システムの企画、販売   |
| (株)プレミアロータス・ネットワーク       | 50,000千円    | 60.0%   | ロードアシスタンスサービス                             |
| (株)プレミア・ケア               | 56,000千円    | 100.0%  | 通所介護支援サービス                                |
| (株)プレミア・エイド              | 100,000千円   | 100.0%  | テレマティクスを活用した緊急通報・<br>情報提供サービス             |
| (株)プレミア・インシュアランスパートナーズ   | 40,000千円    | 85.2%   | ヘルスケアプログラムの企画、販売及び運営<br>支援                |
| (株)プレミア・インシュアランスソリューションズ | 5,000千円     | 100.0%  | BPOと保証・保険に関連した事業の企画・<br>販売・運営支援           |
| (株)PI・EISインシュアランステクノロジー  | 50,000千円    | 51.0%   | 保険ソフトウェアの企画及びカスタマイズ<br>開発                 |

| 名 称              | 資本金       | 議決権比率   | 主 要 な 事 業 内 容      |
|------------------|-----------|---------|--------------------|
| (株)プレミアペットアシスト   | 50,000千円  | 100.0%  | ペットアシスタンスサービス      |
| (株)プレミア・ブライトコネクト | 100,000千円 | (51.0%) | IoT機器の設計・開発・販売及び保守 |

#### 海外子会社（米州・欧州）

| 名 称                                              | 資本金                 | 議決権比率    | 主 要 な 事 業 内 容                                        |
|--------------------------------------------------|---------------------|----------|------------------------------------------------------|
| PRESTIGE INTERNATIONAL USA INC.                  | 1,934,038<br>米ドル    | 100.0%   | 24時間日本語受付サービス、クレームエージェンツサービス、ヘルスケアプログラム、クレジットカードサービス |
| Prestige Internacional do Brasil Ser. Int. Ltda. | 600,001<br>レアル      | (100.0%) | 24時間日本語受付サービス、クレームエージェンツサービス、ヘルスケアプログラム              |
| Prestige International UK Ltd.                   | 1,930,000<br>ポンド    | (100.0%) | 24時間日本語受付サービス、クレームエージェンツサービス、ヘルスケアプログラム              |
| PRESTIGE INTERNACIONAL MEXICO LTDA               | 1,910,000<br>メキシコペソ | (100.0%) | 日本人向けヘルスケアプログラムサービスのアシスト、ネットワーク構築                    |

#### 海外子会社（アジア・オセアニア）

| 名 称                                          | 資本金                   | 議決権比率    | 主 要 な 事 業 内 容                                           |
|----------------------------------------------|-----------------------|----------|---------------------------------------------------------|
| Prestige International (S) Pte Ltd.          | 9,050,000<br>シンガポールドル | 100.0%   | 24時間日本語受付サービス、クレームエージェンツサービス、ヘルスケアプログラム                 |
| P. I. PHILIPPINES, INC.                      | 9,400,000<br>フィリピンペソ  | (100.0%) | 24時間日本語受付サービス、クレームエージェンツサービス、ヘルスケアプログラム                 |
| JAPANESE HELP DESK INC.                      | 8,000,000<br>フィリピンペソ  | (40.0%)  | 病院内における日本人向けヘルプデスクの運営、日本人向けヘルスケアプログラムサービスのアシスト、ネットワーク構築 |
| JHD MED-AID INC.                             | 1,500,000<br>フィリピンペソ  | (0.0%)   | 医薬品販売サービス                                               |
| PRESTIGE INTERNATIONAL CHINA CO., LTD.       | 360,000<br>米ドル        | (100.0%) | 24時間日本語受付サービス、クレームエージェンツサービス、ヘルスケアプログラム                 |
| PRESTIGE INTERNATIONAL (THAILAND) CO., LTD.  | 6,000,000<br>バーツ      | (100.0%) | 24時間日本語受付サービス、クレームエージェンツサービス、ヘルスケアプログラム                 |
| P. I. ASSISTANCE (THAILAND) CO., LTD.        | 10,000,000<br>バーツ     | (100.0%) | 病院内における日本人向けヘルスケアプログラムサービスのアシスト                         |
| Prestige International (HK) Co., Limited.    | 10,000<br>香港ドル        | (100.0%) | 24時間日本語受付サービス、クレームエージェンツサービス、ヘルスケアプログラム                 |
| Prestige International (Taiwan) Co., Limited | 15,000,000<br>台湾ドル    | (100.0%) | 24時間日本語受付サービス、クレームエージェンツサービス、ヘルスケアプログラム、カスタマーコンタクトサービス  |

| 名 称                                                | 資本金                  | 議決権比率    | 主 要 な 事 業 内 容                                                 |
|----------------------------------------------------|----------------------|----------|---------------------------------------------------------------|
| PRESTIGE INTERNATIONAL AUSTRALIA PTY LTD           | 1,000,000<br>豪ドル     | (100.0%) | 24時間日本語受付サービス、クレームエージェントサービス、ヘルスケアプログラム                       |
| P. I. PRESTIGE INTERNATIONAL INDIA PRIVATE LIMITED | 23,000,000<br>インドルピー | (100.0%) | 病院内における日本人向けヘルプデスクの運営、24時間日本語受付サービス、クレームエージェントサービス、ヘルスケアプログラム |
| P. I. PRESTIGE INTERNATIONAL (CAMBODIA) CO., LTD.  | 800,000,000<br>リエル   | (100.0%) | 病院内における日本人向けヘルプデスクの運営、日本人向けヘルスケアプログラムサービスのアシスト、ネットワーク構築       |
| P. I MYANMAR PTE LIMITED                           | 150,000<br>米ドル       | (100.0%) | 病院内における日本人向けヘルプデスクの運営、日本人向けヘルスケアプログラムサービスのアシスト、ネットワーク構築       |
| PRESTIGE INTERNATIONAL (M) SDN. BHD.               | 500,000<br>リンギット     | (100.0%) | 病院内における日本人向けヘルスケアプログラムサービスのアシスト、クレームエージェントサービス                |
| PRESTIGE INTERNATIONAL VIETNAM Co., Ltd            | 4,342,734,500<br>ドン  | (100.0%) | 病院内における日本人向けヘルスケアプログラムサービスのアシスト                               |
| PI INSURANCE TECHNOLOGY SINGAPORE PTE. LTD.        | 7,974千円              | 100.0%   | システムの設計及びカスタマイズ開発                                             |

#### 関連会社

| 名 称                 | 資本金       | 議決権比率 | 主 要 な 事 業 内 容 |
|---------------------|-----------|-------|---------------|
| (株)プライムアシスタンス       | 450,000千円 | 33.4% | ロードアシスタンスサービス |
| (株)ファーストリビング アシスタンス | 100,000千円 | 49.0% | プロパティサービス     |

- (注) 1. 上記の重要な子会社及び関連会社は、すべて連結対象及び持分法適用会社です。
2. 議決権比率欄の( )内は、当社が子会社等を通じて所有する議決権比率を示しております。
3. 2023年4月1日付で、当社は、(株)プレミアライフの全株式を(株)イントラストへ譲渡しております。
4. (株)プレミアビジネステクノロジーは、2023年2月28日付で清算結了いたしました。
5. (株)プレミア・ブライコネクトを2022年7月28日付で(株)プレミア・エイドとエコモット(株)との合弁で設立し、当事業年度より新たに連結の範囲に含めております。
6. JAPANESE HELP DESK INC.は、持分は100分の50以下ですが、実質的に支配しているため子会社としております。
7. JHD MED-AID INC.は、持分は100分の50以下ですが、実質的に支配しているため子会社としております。

#### (4) 対処すべき課題

##### (事業全般)

新型コロナウイルス感染症の拡大は経済活動に大きな影響を与えましたが、ワクチンの接種が進むなど徐々に行動制限が緩和され、経済活動の正常化に向け進んでおります。当社グループの国内事業においては、地方都市に設置している各BPO拠点で罹患者数が増加したものの、首都圏と比較して低水準であったことから安定した事業継続がなされました。

国内のBPO市場については、経済活動が本格化すると同時に、隠れていた人手不足が顕在化しつつあり、さらに、働き方改革やDXの推進を通じた業務変革や企業競争力向上の動きを背景に、市場拡大の追い風となっております。

海外事業においては、海外への渡航者が新型コロナウイルス感染症の拡大前の水準までには回復せず厳しい事業環境が続きました。この状態は回復傾向が見られるものの、昨今の為替水準や物価高の影響により、短期的には渡航者数の回復速度は緩やかなものとなる見込みです。

##### (人員の採用と離職防止)

現在、国内では人手不足が慢性化しており深刻な社会問題となっております。また、社会全体における賃金水準引き上げの影響により、労務コストの増加が予想されます。当社グループにおいては、主力のオペレーション業務を地方に設置した各BPO拠点で行っており、首都圏に比べると安定して人員を採用することができております。

当社グループへの需要は旺盛で、これまで以上の人員体制が求められておりますが、ビジネスモデルに因る一般への認知度の低さが重なり、採用活動に影響を及ぼしていると考えております。さらに、離職の防止についても採用と共に重点課題であると認識しています。

これらの課題に対し、以下の取り組みを行っております。

- (1) 地方に設置した各BPO拠点は、日頃の地域貢献活動を通じて、当社グループの企業活動を紹介する機会や、地方自治体と協力した学校訪問及び企業説明会などをこれまで以上に増やし、採用活動を促進しております。
- (2) 職場環境の向上は就職活動における応募や入社への動機付けにもなり、かつ従業員の意見を汲んだ働きやすい環境作りは離職防止策の一つでもあるため、恒常的に改善を実施しております。
- (3) 当社グループの財務状況や業績を踏まえつつ、ベースアップを含む給与体系の見直し、物価高騰に対する一時手当の支給などを行い、従業員の生活の一助となるよう取り組んでおります。

#### (新たなBPO拠点の設置)

当社グループは、これまで東北・北陸地方を中心にBPO拠点を展開してまいりました。今後も旺盛な需要に応えるべく、長期的には新たな拠点の展開を進め受託能力を拡大していく必要があると考えております。通常、新規に地方で拠点を設置するには進出先の自治体との折衝から建設まで4年程度の時間を要します。このため、既存拠点の拡張、改修などを進めて早期に受託能力の拡大に取り組んでまいります。

#### (サービス品質の向上)

当社グループのサービスは、クライアント企業の問題を解決し、サービスを利用するエンドユーザーの不便さ、困ったことを解消することを大義としております。

また、当社グループの強みは、コンタクトセンター、フィールド、IT・DXの三位一体のサービス提供にあります。

サービス品質向上の取り組みの一環として、フィールドにおけるサービスブランドである「PREMIER Assist」の価値及び品質向上に向けた施策等を行っております。

現場対応を行う株式会社プレミアアシストが有する富山トレーニングフィールドにおいて、新人研修のみならず、既存スタッフの実地・座学研修を実施し、継続的に技術力を磨く環境を整えております。

今後も強みを活かし、社会情勢の変化、テクノロジーの進化に対応するべく、BPO事業に加えて、オペレーションプラットフォームを構築し、当社グループならではの価値提供を目指してまいります。

#### (地方貢献と人財育成)

日本国内における地方都市の雇用問題は社会的な課題の一つと認識しております。当社グループでは、地域社会に貢献することを重要な基本戦略と位置付け、地域活性や女性活躍をビジネスの根幹とし、事業を発展させてまいりました。働きやすい職場環境の構築として、人財育成にかかる取り組みや制度、研修機会を設けるほか、カフェテリアや企業内保育園といった施設整備も行っております。

地方での拠点展開としては、2022年4月に、秋田県にかほ市内3カ所で事業を行ってまいりました秋田BPOメインキャンパスにかほランチを統合し、県内3拠点目となる秋田BPOにかほキャンパスを開設いたしました。これにより、国内のコンタクトセンターは5県8カ所になりました。地方都市での雇用創造・維持のため、今後も計画的に地方における拠点展開を実施してまいります。

人財育成の取り組みとしては、当社では2018年より女性活躍推進プロジェクト（Woman Excite Project “WEPRO”）を運営し、女性管理者比率50%の達成を目標に掲げ、人事制度や人財育成方法の見直し等を通し、柔軟な働き方、多様な働き方を推進しております。また、健康経営の取り組みとして、代表取締役のもと人事統括部門・経営統括部門を事務局とする健康経営プロジェクトを2019年より運営しております。女性や若年層が多い職場だからこそ、女性特有の健康課題や、病気にならないようにサポートを行う未病対策に着目した取り組みを行い、「貧血の有所見者率10.4%以下」及び「BMI普通体重維持者率65%以上」を目標に掲げ、健康経営の取り組み強化に努めております。

その他には、地域の活性化、そして女性が活躍できる場を増やしたいという思いから、秋田・山形・富山のBPO拠点において、女子スポーツチーム「アランマーレ」を運営しております。スポーツを続けたい若者を当社の従業員として雇用し、若い世代が安心して地元に戻ってこることができる環境、そして女性がより一層活躍できる場を整備してまいります。

#### （内部統制全般）

当社グループの従業員は5,000名を超える規模となり、組織の隅々まで企業文化と法令順守、内部統制の意識を徹底させることが一層重要となっていると考えております。また、中期経営計画のもと、「継続的・安定的な成長」を実現していくため、責任と権限を明確にし、より果敢かつ迅速な意思決定と実行が重要な状況となっております。

当社グループとしては、2019年4月より持株会社体制に移行し、中長期的な視点に立った迅速な意思決定を行うための体制を構築し、運用を行っております。2021年5月よりBPO事業を運営する主要な子会社である株式会社プレスステージ・コアソリューション及び株式会社プレスステージ・グローバルソリューションを取締役会設置会社とし、経営責任と執行責任を明確にいたしました。続く2022年2月には、当社の取締役会の諮問機関として「指名報酬委員会」を設置し、取締役、監査役の指名・報酬等に関する手続きの公正性・透明性・客観性の強化を図りました。コーポレートガバナンス体制をより一層充実させ、継続的な成長を支える経営基盤を整えることにより、新たな価値創造へのチャレンジを推進してまいります。

以上のような諸施策により経営資源を集中し、更なる成長と株主価値向上に努める方針であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(5) 主要な事業内容（2023年3月31日現在）

当社グループは、当社、連結子会社38社、持分法適用関連会社2社により構成され、オートモーティブ事業、プロパティ事業、グローバル事業、カスタマー事業、金融保証事業、IT事業及びソーシャル事業を展開しております。セグメント別の区分の詳細は事業報告「1. (3)重要な子会社及び関連会社の状況」をご参照ください。

当社グループの事業は、損害保険会社、自動車会社、不動産管理会社、クレジットカード会社等を主要なクライアント企業とし、カスタマーコンタクト業務、アシスタンス業務、アフターサービスに関する業務、決済及び請求業務、損害調査業務、支払業務等のサービスを企画・提供するものであり、コンタクトセンターや関係会社をグローバルに展開しております。

当社グループの事業区分ごとの事業内容及び主要な関係会社名は以下のとおりです。

| 事業区分         | 事業内容                                                                                                                                                                                                            | 主要な関係会社名                                                                                                                                                                                         |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| オート<br>モーティブ | <p>【概要】 損害保険会社、自動車会社（メーカー、販売会社）等を主なクライアント企業とし、エンドユーザー（被保険自動車の保有者、自動車購入者）に対してロードアシスタンスサービスや自動車延長保証等の幅広いサービス提供を行う。</p> <p>【例】 24時間年中無休のカスタマーコンタクトサービス、ディーラーサポート、自動車延長保証等、ロードアシスタンスサービスにおける手配システムの企画・開発・運用・保守等</p> | <p>(株)プレステージ・コアソリューション</p> <p>(株)プレミアアシスト</p> <p>(株)プレミアアシスト・ネットワーク</p> <p>(株)プレミアロタス・ネットワーク</p> <p>(株)プレミア・エイド</p> <p>(株)プレミア・インシュアランスソリューションズ</p> <p>(株)プライムアシスタンス</p> <p>(株)プレミア・ブライトコネクト</p> |

(注) 1. ロードアシスタンスサービスは、①故障現場において30分程度で対処可能な緊急修理（バッテリーあがりの際にケーブルをつないでスタートさせるジャンピング、パンクタイヤの交換、車内に鍵を忘れたままの旋錠の開放等）、②現場修理が不可能な故障の場合におけるレッカー移動の手配、③故障が車両保有者の自宅から離れた場所で発生した場合における帰宅・宿泊・レンタカーの手配、もしくは修理済み車両の託送手配等クライアント企業がお客様（被保険自動車の保有者、自動車購入者）に提供しているサービスであります。



| 事業区分  | 事業内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 主要な関係会社名                                                                                                    |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| プロパティ | <p>【概要】不動産管理会社や駐車場運営会社等を主なクライアント企業とし、マンション等の入居者や駐車場の利用者からの緊急要請に対応した24時間年中無休のアシスタンスサービスを提供する。</p> <p>また、ペットに関連したBPOサービス全般の開発・提供を行う。</p> <p>【例】不動産会社向けアシスタンスサービス（水漏れ、電気設備、付帯設備の不具合の解決等）、駐車場管理会社向けアシスタンスサービス、住宅設備延長保証、カスタマーコンタクトサービス、ペット関連のアシスタンスサービス（相談・往診・搬送等のトータルケア）、手配システムの企画・開発・運用・保守等</p>                                                                                                    | <p>(株)プレステージ・コアソリューション</p> <p>(株)プレミアアシスト</p> <p>(株)プレミアペットアシスト</p> <p>(株)ファーストリビングアシスタンス</p>               |
| グローバル | <p>【概要】損害保険会社を主なクライアント企業とし、海外旅行保険の被保険者に対して、24時間日本語受付サービスやクレームエージェントサービスを提供する。そのノウハウ及びネットワークを活かし、日本人駐在員が多い事業会社をクライアント企業として、日本人駐在員の海外での傷害・病気に対処するヘルスケアプログラム（HCP）や現地法人向けメディカルサポートプログラム（MSP）、プレミアヘルスクリニック（当社直営クリニック）の運営を展開する。</p> <p>また、海外金融機関及び日系航空会社と提携し、米国において、主に日本人駐在員向けに現地通貨で決済できるクレジットカードを発行する。</p> <p>【例】海外旅行保険の被保険者向けサービス（24時間日本語受付サービス、キャッシュレス・メディカルサービス等）、HCP、MSP、PREMIO CARDの発行及び運営等</p> | <p>(株)プレステージ・グローバルソリューション</p> <p>(株)プレミアIT&amp;プロセスマネジメント</p> <p>(株)プレミア・インシュアランスパートナーズ</p> <p>海外子会社19社</p> |

- (注) 2. 24時間日本語受付サービスは、保険に加入したお客様（被保険者）からの電話等による傷害・疾病・事故等の受付、現地の医師・医療機関の紹介及び手配、保険契約の内容や保険金請求に関する照会、付添人・通訳の手配、警察への盗難届・事故証明書取付け等のサポート業務であります。
3. クレームエージェントサービスは、海外旅行保険に加入したお客様（被保険者）の傷害・疾病・事故等に関する原因調査ならびに損害等の査定、海外医療機関との折衝、医療費等（保険金）の立替払い、保険金請求に必要な書類及び証明書の取付け等を行うサポート業務であります。
4. ヘルスケアプログラムは、海外進出日系企業と国内で契約を結び、その日本人駐在員に対しサービスを提供いたします。(注) 3にて構築した全世界の医療機関ネットワークを通して、赴任先における医療機関の紹介や健康保険組合に対する申請書類の翻訳・作成等の医療費精算サポートを行います。健康保険利用や受診時通訳サポート利用など、オーダーメイドでのサービス追加が可能となっております。
5. メディカルサポートプログラムは、当社海外子会社が日系企業の海外現地法人や日本人駐在員個人と直接契約を結び、医療費精算サポート等を行うプランです。現地の医療情報などを海外拠点より発信することで、タイムリーな情報提供を行います。

| 事業区分  | 事業内容                                                                                                                                                                                                                                                                               | 主要な関係会社名                                                                                                   |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| カスタマー | <p>【概要】クレジットカード会社や通信販売会社、ポータルサイト運営会社、通信会社等を主なクライアント企業とし、CRMサービスを提供する。また、損害保険会社等に対し、（被保険者からの緊急要請に対応して24時間年中無休の事故受付を提供する）事故受付業務や製品保証ビジネス等を行う。コロナワクチン接種予約センターやDX推進サポート等、自治体に関連したビジネスも展開する。</p> <p>【例】CRMサービス、事故受付、製品保証ビジネス、自治体向けビジネス、少額短期保険の事務受託業務、販売促進システムの開発及び提供、人材派遣・人材紹介サービス等</p> | (株)プレステージ・コアソリューション<br>(株)プレステージ・グローバルソリューション<br>(株)プレステージ・ヒューマンソリューション<br>タイム・コマース(株)<br>(株)プレミア・クロスバリュアー |

| 事業区分  | 事業内容                                                                                                                                    | 主要な関係会社名                                                                              |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 金融保証  | <p>【概要】不動産管理会社等をクライアント企業とし、家主に対して家賃滞納リスクを一定期間一定限度保証する家賃保証プログラムを行う。同スキームを応用した様々な金融保証サービスを展開する。</p> <p>【例】家賃債務保証、医療費用保証、介護費用保証、養育費保証等</p> | (株)イントラスト<br>(株)プレミアライフ                                                               |
| IT    | <p>【概要】BPOサービスやCRM・SCMビジネスに特化したITインフラを提供する。</p> <p>【例】保険会社の契約管理・保険金管理等を担う基幹システムの開発・運用、SCMサービス、ビジネスプロセスのコンサルティング・開発・構築・運用・保守等</p>        | タイム・コマース(株)<br>(株)PI・EISインシュアランステクノロジー<br>PI INSURANCE TECHNOLOGY SINGAPORE PTE. LTD. |
| ソーシャル | <p>【概要】女子スポーツチーム「アランマーレ」、保育事業「オランジェリー」、及び地方創生に関連した社会貢献事業を行う。</p>                                                                        | (株)プレステージ・インターナショナル<br>(株)プレステージ・コアソリューション<br>(株)プレミア・ケア                              |

## (6) 主要な事業所等 (2023年3月31日現在)

### ① 当社の主要な事業所

**本社** 東京都千代田区  
**支店** 秋田県（秋田市、横手市、にかほ市）、山形県（酒田市）、富山県（射水市）  
 新潟県（魚沼市）、岩手県（一関市）

### ② 子会社等の事業所

|           |                        |         |
|-----------|------------------------|---------|
| <b>国内</b> | (株)プレステージ・コアソリューション    | 東京都千代田区 |
|           | (株)プレステージ・グローバルソリューション | 東京都千代田区 |
|           | (株)プレステージ・ヒューマンソリューション | 秋田県秋田市  |
|           | タイム・コマース(株)            | 東京都港区   |
|           | (株)プレミアアシスト            | 東京都千代田区 |
|           | (株)プレミアアシスト・ネットワーク     | 東京都千代田区 |
|           | (株)プレミアライフ             | 東京都千代田区 |
|           | (株)イントラスト              | 東京都千代田区 |
|           | (株)プレミアIT&プロセスマネジメント   | 秋田県にかほ市 |

|                                             |                                                    |         |
|---------------------------------------------|----------------------------------------------------|---------|
|                                             | (株)プレミア・クロスバリュー                                    | 東京都千代田区 |
|                                             | (株)プレミアロータス・ネットワーク                                 | 東京都千代田区 |
|                                             | (株)プレミア・ケア                                         | 東京都千代田区 |
|                                             | (株)プレミア・エイド                                        | 東京都千代田区 |
|                                             | (株)プレミア・インシュアランスパートナーズ                             | 東京都千代田区 |
|                                             | (株)プレミア・インシュアランスソリューションズ                           | 東京都千代田区 |
|                                             | (株)PI・EISインシュアランステクノロジー                            | 東京都千代田区 |
|                                             | (株)プレミアペットアシスト                                     | 東京都千代田区 |
|                                             | (株)プレミア・ブライトコネクト                                   | 東京都千代田区 |
| <b>海 外</b>                                  | PRESTIGE INTERNATIONAL USA INC.                    | アメリカ    |
|                                             | Prestige Internacional do Brasil Ser. Int.Ltda.    | ブラジル    |
|                                             | Prestige International UK Ltd.                     | イギリス    |
|                                             | PRESTIGE INTERNACIONAL MÉXICO LTDA                 | メキシコ    |
|                                             | Prestige International (S) Pte Ltd.                | シンガポール  |
|                                             | P. I. PHILIPPINES, INC.                            | フィリピン   |
|                                             | JAPANESE HELP DESK INC.                            | フィリピン   |
|                                             | JHD MED-AID INC.                                   | フィリピン   |
|                                             | PRESTIGE INTERNATIONAL CHINA CO., LTD.             | 中国      |
|                                             | PRESTIGE INTERNATIONAL (THAILAND) CO., LTD.        | タイ      |
|                                             | P. I. ASSISTANCE (THAILAND) CO., LTD.              | タイ      |
|                                             | Prestige International (HK) Co., Limited.          | 香港      |
|                                             | Prestige International (Taiwan) Co., Limited       | 台湾      |
|                                             | PRESTIGE INTERNATIONAL AUSTRALIA PTY LTD           | オーストラリア |
|                                             | P. I. PRESTIGE INTERNATIONAL INDIA PRIVATE LIMITED | インド     |
|                                             | P. I. PRESTIGE INTERNATIONAL (CAMBODIA) CO., LTD.  | カンボジア   |
| P. I MYANMAR PTE LIMITED                    | ミャンマー                                              |         |
| PRESTIGE INTERNATIONAL (M) SDN. BHD.        | マレーシア                                              |         |
| PRESTIGE INTERNATIONAL VIETNAM Co.,Ltd      | ベトナム                                               |         |
| PI INSURANCE TECHNOLOGY SINGAPORE PTE. LTD. | シンガポール                                             |         |
| <b>関連会社</b>                                 | (株)プライムアシスタンス                                      | 東京都中野区  |
|                                             | (株)ファーストリビング アシスタンス                                | 東京都新宿区  |

- (注) 1. (株)プレミアビジネステクノロジーは、2023年2月28日付で清算終了いたしました。
2. (株)プレミア・ブライトコネクトを2022年7月28日付で(株)プレミア・エイドとエコモット(株)との合併で設立し、当事業年度より新たに連結の範囲に含めております。

(7) 使用人の状況 (2023年3月31日現在)

① 企業集団の使用人の状況

| 区 分       | 使 用 人 数       | 前連結会計年度末比増減  |
|-----------|---------------|--------------|
| 日本        | 4,383 (550) 名 | 240名増 (38名増) |
| 米州・欧州     | 38 (7) 名      | 1名増 (3名増)    |
| アジア・オセアニア | 186 (8) 名     | 46名増 (－)     |
| 全社 (共通)   | 150 (51) 名    | 11名減 (8名増)   |
| 合計        | 4,757 (616) 名 | 276名増 (49名増) |

(注) 使用人数は就業員数であり、パート及び嘱託社員は ( ) 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

② 当社の使用人の状況

| 使 用 人 数    | 前事業年度末比増減   | 平 均 年 齢 | 平均勤続年数 |
|------------|-------------|---------|--------|
| 327 (18) 名 | 116名増 (4名増) | 35.8歳   | 5.61年  |

(注) 1. 使用人数は就業員数であり、パート及び嘱託社員は ( ) 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

2. 使用人数には出向者に対する人数は含まれておりません。

(8) 主要な借入先の状況 (2023年3月31日現在)

| 借 入 先               | 借 入 額     |
|---------------------|-----------|
| 株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行 | 375,000千円 |

(9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 2. 会社の現況

### (1) 株式の状況 (2023年3月31日現在)

① 発行可能株式総数 427,008,000株

② 発行済株式の総数 128,560,700株

(注) 1. 発行済株式の総数は368,300株増加しており、そのうちストック・オプションの行使による増加は261,200株です。

2. 当社は、当社の取締役(社外取締役を除く)3名(内1名は当社従業員を兼務)及び当社の執行役員並びに当社子会社の取締役及び執行役員(当社従業員を兼務)13名に対して、譲渡制限付株式の付与のため、2022年9月7日付で普通株式107,100株発行いたしました。

③ 株主数 4,100名

④ 大株主の状況(上位10名)

| 株主名                                                                                       | 持株数<br>株   | 持株比率<br>% |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----------|
| 株式会社タマガミインターナショナル                                                                         | 35,561,400 | 27.79     |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                                                                   | 21,084,200 | 16.47     |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口)                                                                        | 6,010,100  | 4.70      |
| GOLDMAN, SACHS & CO. REG                                                                  | 4,347,554  | 3.40      |
| GOVERNMENT OF NORWAY                                                                      | 3,786,100  | 2.96      |
| THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044                                                        | 3,774,600  | 2.95      |
| NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE THE HIGHCLERE INTERNATIONAL INVESTORS SMALLER COMPANIES FUND | 2,660,300  | 2.08      |
| NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE UKUC UCITS CLIENTS NON LENDING 10PCT TREATY ACCOUNT          | 2,467,000  | 1.93      |
| SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT                                                              | 2,357,848  | 1.84      |
| NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE MONDRIAN INTERNATIONAL SMALL CAP EQUITY FUND, L. P.          | 2,101,100  | 1.64      |

(注) 1. 持株比率は、発行済の普通株式の総数から自己株式(580,708株)を除いて計算しております。

2. 持株比率は、小数点以下第3位を四捨五入しております。

- ⑤ 当事業年度中に職務執行の対価として当社役員並びに当社子会社役員に  
対し交付した株式の状況

|                            | 株 式 数   | 交 付 対 象 者 |
|----------------------------|---------|-----------|
| 取締役（社外取締役を除く）              | 86,200株 | 3名        |
| 社外取締役                      | - 株     | - 名       |
| 監査役                        | - 株     | - 名       |
| 当社の執行役員<br>当社子会社の取締役及び執行役員 | 20,900株 | 13名       |

(注) 当社の株式報酬の内容につきましては、事業報告「2. (2) ④当事業年度にかかる報酬等の総額」に記載しております。

## (2) 会社役員の状況

### ① 取締役及び監査役の状況（2023年3月31日現在）

| 会社における地位 | 氏名                          | 担当及び重要な兼職の状況                                                                                    |
|----------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表取締役    | 玉上進一                        | (株)メンバーズ 社外取締役監査等委員<br>(株)イントラスト 取締役<br>(株)プレステージ・コアソリューション<br>代表取締役                            |
| 取締役      | 関根浩                         | (株)プレミアアシスト 取締役                                                                                 |
| 取締役      | 吉田奈央<br>(戸籍上の氏名：<br>中西奈央)   | 女性活躍推進担当<br>(株)プレステージ・グローバルソリューション<br>取締役兼執行役員                                                  |
| 取締役      | 岩瀬香奈子                       | (株)アルーシャ 代表取締役<br>(株)明光ネットワークジャパン 社外取締役                                                         |
| 取締役      | 関敏昭                         | (株)プレミアアシスト 社外取締役<br>(株)ディア・ライフ 社外取締役                                                           |
| 常勤監査役    | 吉田範夫                        | (株)プレステージ・コアソリューション<br>監査役<br>(株)プレステージ・グローバルソリューション<br>監査役<br>(株)プレミアアシスト 監査役<br>(株)イントラスト 監査役 |
| 常勤監査役    | 石野豊                         | (株)プレステージ・コアソリューション<br>監査役                                                                      |
| 監査役      | 高木いづみ<br>(戸籍上の氏名：<br>神門いづみ) | 堀総合法律事務所 パートナー弁護士<br>公益財団法人日本ラグビーフットボール協会<br>社外理事<br>(株)スピークパディ 社外監査役                           |
| 監査役      | 原勝彦                         | 原勝彦公認会計士事務所 公認会計士<br>伊藤忠テクノソリューションズ(株)<br>社外監査役<br>(株)大泉製作所 社外監査役                               |

- (注) 1. 取締役のうち岩瀬香奈子氏及び関敏昭氏は社外取締役、監査役のうち高木いづみ氏及び原勝彦氏は社外監査役であり、当社は4氏を東京証券取引所に独立役員として届け出ております。
2. 取締役吉田奈央氏及び関敏昭氏は、2022年6月23日開催の第36回定時株主総会において新たに取締役に選任され、就任いたしました。
3. 取締役大坂有紀氏及び服部義一氏は、2022年6月23日開催の第36回定時株主総会終結の時をもって任期満了により退任いたしました。
4. 社外取締役及び社外監査役の重要な兼職の状況については上記に記載のとおりであります。なお、兼職先である法人等と当社との間に特別な関係はありません。
5. 監査役原勝彦氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度



の知見を有しております。

6. 当該事業年度に係る役員の重要な兼職状況の変更は以下のとおりであります。
- ・取締役関敏昭氏は、2022年7月1日付で（株）プレミアアシストの社外取締役に、2022年12月22日付で（株）ディア・ライブの社外取締役に就任いたしました。
  - ・取締役岩瀬香奈子氏は、2022年6月24日付で（株）幸楽苑ホールディングスの社外取締役に退任し、2022年11月18日付で（株）明光ネットワークジャパンの社外取締役に就任いたしました。
  - ・監査役原勝彦氏は、2022年6月24日付で日精樹脂工業（株）の取締役を退任いたしました。

② 責任限定契約の内容の概要

当社と社外取締役岩瀬香奈子氏、関敏昭氏、社外監査役高木いづみ氏、原勝彦氏は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。

当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、1,000万円以上であらかじめ定めた額又は法令が規定する額のいずれか高い額としております。

③ 役員等賠償責任保険契約の内容の概要

当社は、保険会社との間で当社の取締役及び監査役（当事業年度に在任していたものを含む）を被保険者とする、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、保険料は全額当社が負担しております。

当該保険契約の内容の概要は、被保険者である対象役員が、その職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害について填補するものであり、1年毎に契約更新しております。

ただし、法令違反の行為であることを認識して行った行為の場合等、一定の免責事由があります。

④ 当事業年度にかかる報酬等の総額

| 区分        | 報酬等の種類別の総額<br>(千円) |            | 報酬等の<br>総額<br>(千円) | 報酬等の総額の<br>うち非金銭報酬<br>(千円) | 対象となる<br>役員の員数 |
|-----------|--------------------|------------|--------------------|----------------------------|----------------|
|           | 基本報酬               | 業績連動<br>報酬 |                    |                            |                |
| 取締役       | 59,900             | 50,143     | 110,043            | 50,143                     | 7名             |
| （うち社外取締役） | (6,000)            | (-)        | (6,000)            | (-)                        | (3名)           |
| 監査役       | 16,800             | -          | 16,800             | -                          | 4名             |
| （うち社外監査役） | (6,000)            | (-)        | (6,000)            | (-)                        | (2名)           |
| 合計        | 76,700             | 50,143     | 126,843            | 50,143                     | 11名            |
| （うち社外役員）  | (12,000)           | (-)        | (12,000)           | (-)                        | (5名)           |

(注) 1. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。

2. 上表には、2022年6月23日開催の第36回定時株主総会終結の時をもって退任した取締役2名を含んでおります。
3. 当事業年度において、社外役員が当社の子会社から役員として受けた報酬等の総額は1,350千円であります。
4. 非金銭報酬の内容は当社の譲渡制限付株式であり、決定した報酬総額を現金報酬額と譲渡制限付株式報酬に自らの意思で配分できる制度を採用しております。制度概要は事業報告「2. (2)⑤取締役の報酬等に係る方針の決定及びその方針の内容」に記載しております。また、当事業年度における交付状況は事業報告「2. (1)⑤当事業年度中に職務執行の対価として当社役員並びに当社子会社役員に対し交付した株式の状況」に記載しております。
5. 取締役の報酬限度額は、2006年6月28日開催の第20回定時株主総会において年額3億円以内（ただし、使用人分給与は含まない。）と決議いただいております。当該株主総会終結時点の取締役の員数は、5名（うち社外取締役1名）です。  
また、別枠で2021年6月24日開催の第35回定時株主総会において、譲渡制限付株式報酬として年額1億円以内、株式数の上限を年150千株と決議いただいております。当該株主総会終結時点の取締役（社外取締役を除く。）の員数は、3名です。
6. 監査役の報酬限度額は、2006年6月28日開催の第20回定時株主総会において年額1億円以内と決議いただいております。当該株主総会終結時点の監査役の員数は、4名です。

⑤ 取締役の報酬等に係る方針の決定及びその方針の内容

**【方針決定の方法】**

当社は、取締役の報酬決定に係る方針に関して、取締役会において決議しております。

なお、社外取締役を除く取締役において、当社以外の役員報酬を得ている場合には、当社からの報酬額から同額を控除した額を総額として決定しております。

**【報酬決定プロセス】**

指名報酬委員会（3名以上の取締役及び監査役で構成され、その過半数を東京証券取引所へ独立役員として届出をされている者とする当社の取締役会の諮問機関）の答申内容を踏まえ、取締役会において個別報酬の内容を決定いたしました。

**【取締役の個人別の報酬等の内容が決定方針に沿うものであると取締役会が判断した理由】**

報酬の内容について、基準テーブルに沿った固定報酬であること、報酬総額の範囲内で譲渡制限付株式報酬を選択でき、その割当は取締役会において決議すること等は、2021年6月に取締役会において決議された報酬の決定方針の内容と一致していることから、当社の取締役報酬の決定方針に沿うものと判断しております。

## 【報酬の内容】

| 区分       | 固定報酬 | 業績連動報酬 | 非金銭報酬<br>(譲渡制限付株式報酬) |
|----------|------|--------|----------------------|
| 社内取締役    | ○    | ○      | ○                    |
| 使用人兼務取締役 | ○    |        | ○                    |
| 社外取締役    | ○    |        |                      |

※「○」は、報酬の対象であることを意味します。

### イ. 固定報酬

報酬総額の範囲内で、基準テーブルに基づき、期首連結営業利益予算に対する連結営業利益達成率、ガバナンスの状況、事業創造等の経営成果に基づき評価し、決定しております。

### ロ. 業績連動報酬

取締役報酬を株主利益と連動させるため、経営の実行を担う社内取締役を対象に、業績連動報酬を採用しております。経営実績を評価に反映するため、期首連結営業利益予算に対する連結営業利益達成率、ガバナンスの状況、事業創造等の経営成果に基づき評価し、固定報酬の2ヵ月分相当を基準として0～4ヵ月分相当の範囲内で決定しております。

算定に用いた第36期連結営業利益達成率の実績は、下表の通りです。

| 期首連結営業利益予算 | 連結営業利益実績 | 達成率    |
|------------|----------|--------|
| 6,000百万円   | 6,842百万円 | 114.0% |

### ハ. 非金銭報酬

企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的に、決定した報酬総額を現金報酬額と譲渡制限付株式報酬に自らの意思で配分できる制度を採用しております。この譲渡制限付株式報酬制度は、発行又は処分に係る現物出資に充当する金銭報酬債権を支給するもので、1株当たりの払込金額は各取締役会決議の日の前営業日における東京証券取引所における当社の普通株式の終値を基礎として決定しております。各対象取締役への具体的な支給時期及び配分については、取締役会において決定いたします。

当社と各対象取締役は個別に譲渡制限付株式割当契約を締結いたしますが、その概要は以下の通りであります。

(譲渡制限期間)

各対象取締役は、払込期日から当社又は当社子会社の取締役、監査役又は執行役員のいずれも退任する日又は当社グループの従業員（定年後再雇用者を除く。以下同じ。）を退職する日までの間、割当株式について、譲渡、担保権の設定その他の処分をしてはならない。

(譲渡制限の解除)

各対象取締役が、払込期日の直前の当社定時株主総会の日から翌年に開催される当社定時株主総会の日までの期間（以下「役務提供期間」という。）の間、継続して、当社又は当社子会社の取締役、監査役又は執行役員の地位にあったことを条件として、譲渡制限期間の満了時において、割当株式の全部につき、譲渡制限を解除する。ただし、各対象取締役が役務提供期間において、死亡その他当社の取締役会が正当と認める理由により当社又は当社子会社の取締役、監査役又は執行役員のいずれも退任した場合、譲渡制限期間の満了時において、役務提供期間開始日を含む月の翌月から当該退任日を含む月までの月数を12で除した数（ただし、計算の結果、1を超える場合には1とする。）に、割当株式の数を乗じた数（ただし、計算の結果、1株未満の端数が生ずる場合には、これを切り捨てる。）の割当株式につき、譲渡制限を解除する。

(無償取得事由)

当社は、譲渡制限期間の満了時において、譲渡制限が解除されていない割当株式を当然に無償で取得する。

⑥ 社外役員に関する事項  
 当事業年度における主な活動状況

| 取締役 岩瀬 香奈子                         |                                                                                                                                                                                        |               |
|------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 出席回数／開催回数（出席率）                     | 取締役会                                                                                                                                                                                   | 13回／13回（100%） |
|                                    | 指名報酬委員会                                                                                                                                                                                | 4回／4回（100%）   |
| 取締役会等における発言状況及び期待される役割に関して行った職務の概要 | <p>女性経営者としての視点から、特に当社グループの社会貢献事業や健康経営、女性活躍推進に対する取り組みに対して取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための提案、助言を行っております。また、当社の指名報酬委員会の委員として、客観的な助言や意見交換等をいただくことにより、当社の経営の公正性・透明性・客観性の確保及び向上に重要な役割を果たしております。</p> |               |

| 取締役 関 敏昭                           |                                                                                                                                                                 |               |
|------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 出席回数／開催回数（出席率）                     | 取締役会                                                                                                                                                            | 10回／10回（100%） |
|                                    | 指名報酬委員会                                                                                                                                                         | 3回／3回（100%）   |
| 取締役会等における発言状況及び期待される役割に関して行った職務の概要 | <p>企業経営者として豊富な知見を持ち、経営全般、人材開発に関して取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための提案、助言を行っております。また、当社の指名報酬委員会の委員として、客観的な助言や意見交換等をいただくことにより、当社の経営の公正性・透明性・客観性の確保及び向上に重要な役割を果たしております。</p> |               |

(注) 関敏昭氏は、2022年6月23日開催の第36回定時株主総会において新たに選任されたため、取締役会及び指名報酬委員会の開催回数が他の取締役と異なります。

| 監査役 高木 いづみ (戸籍上の氏名：神門いづみ) |                                                                                                                                                                                          |                |
|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 出席回数／開催回数 (出席率)           | 取締役会                                                                                                                                                                                     | 13回／13回 (100%) |
|                           | 監査役会                                                                                                                                                                                     | 14回／14回 (100%) |
|                           | 指名報酬委員会                                                                                                                                                                                  | 4回／4回 (100%)   |
| 取締役会等における発言状況             | <p>弁護士としての専門的な知見から、取締役会において意思決定の妥当性・適正性を確保するための確認を行い、内部統制システムの構築、運用に対する提案、助言を行っております。また、監査役会においては、監査の方法その他監査役の職務執行に関する事項について提案、助言を行っております。さらに、当社の指名報酬委員会の委員として、客観的な助言や意見交換等を行っております。</p> |                |

| 監査役 原 勝彦        |                                                                                                                                                                                                    |                |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 出席回数／開催回数 (出席率) | 取締役会                                                                                                                                                                                               | 13回／13回 (100%) |
|                 | 監査役会                                                                                                                                                                                               | 14回／14回 (100%) |
|                 | 指名報酬委員会                                                                                                                                                                                            | 4回／4回 (100%)   |
| 取締役会等における発言状況   | <p>公認会計士としての専門的な知見から、取締役会において意思決定の妥当性・適正性を確保するための確認を行い、会計手法、内部統制システムの構築、運用に対する提案、助言を行っております。また、監査役会においては、監査の方法その他監査役の職務執行に関する事項について提案、助言を行っております。さらに、指名報酬委員会の委員長として審議を主導し、委員会としての答申案をまとめております。</p> |                |

- (注) 1. 上記の取締役会の開催回数のほか、会社法第370条及び当社定款第27条第2項の規定に基づき、取締役会決議があったとみなす書面決議が8回ありました。
2. 指名報酬委員会は、3名以上の取締役及び監査役で構成され、その過半数を東京証券取引所へ独立役員として届出をされている者とする当社の取締役会の諮問機関(2022年2月1日設置)であります。

### (3) 会計監査人の状況

① 名称 EY新日本有限責任監査法人

② 報酬等の額

|                                     | 支払額   |
|-------------------------------------|-------|
| 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額                 | 37百万円 |
| 当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 53百万円 |

- (注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。
2. 当社の海外子会社のうち、Prestige International (S) Pte Ltd.については、INFINITY Assurance LLPの監査又はレビューを受けており、その他の海外子会社についても、海外会計事務所等の監査又はレビューを受けております。
3. 監査役会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務執行状況及び報酬見積りの算出根拠等が適切であるかどうかについて必要な検証を行ったうえで、会計監査人の報酬額についての同意の判断をいたしました。

③ 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合には、株主総会に提出する会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定いたします。

また、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

④ 責任限定契約の内容の概要  
該当事項はありません。

(4) 会社の支配に関する基本方針

特に定めておりません。

## (5) 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は株主の皆様に対しての利益還元を経営の重要な課題の一つとして位置付けています。配当につきましては、今後の事業計画や事業規模の拡大に向けた資金の充実を勘案しつつ、連結ベースの利益水準及びキャッシュ・フローの状況を踏まえ、中間配当及び期末配当の年2回実施することを基本方針としております。配当の決定機関は取締役会であり、「会社法第459条第1項の規定に基づき、取締役会の決議によって剰余金の配当等を行うことができる」旨を定款に定めております。

また上記方針に基づき、配当と自己株式の取得を通じた総株主還元として「総還元性向30%以上」を目標として掲げ、継続的かつ安定的な利益還元策の実施を目指しております。

当事業年度の年間配当金につきましては、2023年3月期の業績を勘案し、前事業年度年間配当金と比較して2.5円増配し、1株につき11円（期末配当金6円、前事業年度と比較して1.5円増配）にて実施しました。これにより連結配当性向は26.4%となりました。

内部留保資金につきましては、受注能力拡大のためのBPOセンター施設の建設、市場ニーズに応えるサービスの開発、さらには、当社グループのサービスネットワーク拡大とサービス品質向上・効率化に投資するための資金として使用する方針であります。今後も必要な成長投資を継続しつつ、基本方針に則った利益還元策を実施し、継続的な企業価値の向上に努めてまいります。



# 連結貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位：千円)

| 資 産 の 部              |                   | 負 債 の 部                |                   |
|----------------------|-------------------|------------------------|-------------------|
| 科 目                  | 金 額               | 科 目                    | 金 額               |
| <b>流 動 資 産</b>       | <b>35,892,843</b> | <b>流 動 負 債</b>         | <b>15,701,735</b> |
| 現金及び預金               | 21,671,467        | 支払手形及び買掛金              | 1,349,742         |
| 売掛金                  | 5,304,236         | 1年内返済予定の長期借入金          | 125,000           |
| 立替金                  | 6,549,144         | リース債務                  | 33,407            |
| 商品及び製品               | 69,380            | 未払法人税等                 | 1,365,018         |
| 仕掛品                  | 173,593           | 契約負債                   | 5,907,561         |
| 原材料及び貯蔵品             | 63,840            | 賞与引当金                  | 748,606           |
| その他の流動資産             | 3,354,858         | 保証履行引当金                | 252,391           |
| 貸倒引当金                | △1,293,676        | その他の流動負債               | 5,920,006         |
| <b>固 定 資 産</b>       | <b>24,380,246</b> | <b>固 定 負 債</b>         | <b>2,753,516</b>  |
| <b>有 形 固 定 資 産</b>   | <b>13,697,049</b> | 長期借入金                  | 250,000           |
| 建物及び構築物              | 11,085,438        | リース債務                  | 60,668            |
| 機械装置及び運搬具            | 367,469           | 繰延税金負債                 | 424,852           |
| 工具、器具及び備品            | 1,088,954         | 退職給付に係る負債              | 13,545            |
| 土地                   | 118,653           | 資産除去債務                 | 1,885,046         |
| リース資産                | 92,074            | その他の固定負債               | 119,403           |
| 建設仮勘定                | 944,459           | <b>負 債 合 計</b>         | <b>18,455,251</b> |
| <b>無 形 固 定 資 産</b>   | <b>2,025,878</b>  | <b>純 資 産 の 部</b>       |                   |
| のれん                  | 135,000           | <b>株 主 資 本</b>         | <b>36,781,620</b> |
| その他の無形固定資産           | 1,890,878         | 資 本 金                  | 1,570,641         |
| <b>投 資 其 他 の 資 産</b> | <b>8,657,318</b>  | 資 本 剰 余 金              | 2,840,271         |
| 投資有価証券               | 7,655,097         | 利 益 剰 余 金              | 32,788,867        |
| 長期貸付金                | 19,679            | 自 己 株 式                | △418,158          |
| 繰延税金資産               | 272,006           | その他の包括利益累計額            | 2,297,480         |
| その他投資等               | 778,154           | その他有価証券評価差額金           | 591,133           |
| 貸倒引当金                | △67,619           | 為替換算調整勘定               | 1,706,346         |
| <b>資 産 合 計</b>       | <b>60,273,090</b> | 新 株 予 約 権              | 249,802           |
|                      |                   | 非 支 配 株 主 持 分          | 2,488,934         |
|                      |                   | <b>純 資 産 合 計</b>       | <b>41,817,838</b> |
|                      |                   | <b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b> | <b>60,273,090</b> |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示をしております。

# 連結損益計算書

（ 2022年4月1日から  
2023年3月31日まで ）

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額       |            |
|-----------------|-----------|------------|
|                 | 内 訳       | 合 計        |
| 売上高             |           | 54,562,956 |
| 売上原価            |           | 41,263,500 |
| 販売費及び一般管理費      |           | 13,299,456 |
| 営業外収益           |           | 5,458,871  |
| 受取利息            | 6,578     |            |
| 有価証券利益          | 225,798   |            |
| 受取配当金           | 30,092    |            |
| 持分法による投資利益      | 322,708   |            |
| 営業外費用           | 50,787    | 635,964    |
| 支払利息            | 5,327     |            |
| 貸倒引当金繰入額        | 11,677    |            |
| 消費税等調整額         | 40,084    |            |
| その他             | 14,561    |            |
| 経常利益            | 26,240    | 97,891     |
| 特別利益            |           | 8,378,657  |
| 固定資産売却益         | 1,855     |            |
| 補助金の収入          | 103,857   |            |
| その他             | 1,130     | 106,843    |
| 特別損失            |           |            |
| 固定資産売却損         | 94        |            |
| 固定資産圧縮損         | 103,857   |            |
| 減価償却損           | 2,286     |            |
| その他             | 3,860     | 110,098    |
| 税金等調整前当期純利益     |           | 8,375,402  |
| 法人税、住民税及び事業税    | 2,615,696 |            |
| 法人税等調整額         | △15,578   | 2,600,117  |
| 当期純利益           |           | 5,775,284  |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 |           | 456,593    |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 |           | 5,318,691  |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示をしております。

# 貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位：千円)

| 資 産 の 部         |                   | 負 債 の 部                |                   |
|-----------------|-------------------|------------------------|-------------------|
| 科 目             | 金 額               | 科 目                    | 金 額               |
| <b>流 動 資 産</b>  | <b>5,547,577</b>  | <b>流 動 負 債</b>         | <b>4,515,843</b>  |
| 現金及び預金          | 3,542,739         | 短期借入金                  | 1,270,000         |
| 貯蔵品             | 12,922            | 1年内返済予定の長期借入金          | 125,000           |
| 前払費用            | 121,774           | 未払金                    | 2,339,562         |
| 未収入金            | 1,629,874         | 未払費用                   | 1,217             |
| その他の流動資産        | 1,007,962         | 未払法人税等                 | 19,436            |
| 貸倒引当金           | △767,696          | 前受金                    | 30,775            |
| <b>固 定 資 産</b>  | <b>21,200,600</b> | 契約負債                   | 978               |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>11,867,968</b> | 預り金                    | 95,866            |
| 建物              | 9,336,213         | 賞与引当金                  | 511,811           |
| 構築物             | 635,272           | その他の流動負債               | 121,194           |
| 機械及び装置          | 3,438             | <b>固 定 負 債</b>         | <b>3,112,341</b>  |
| 車両運搬具           | 22,315            | 長期借入金                  | 250,000           |
| 工具、器具及び備品       | 846,467           | 退職給付引当金                | 10,533            |
| 土地              | 118,653           | 事業損失引当金                | 728,038           |
| 建設仮勘定           | 905,608           | 繰延税金負債                 | 355,562           |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>1,542,971</b>  | 資産除去債務                 | 1,709,192         |
| ソフトウェア          | 1,321,321         | その他の固定負債               | 59,013            |
| その他の無形固定資産      | 221,649           | <b>負 債 合 計</b>         | <b>7,628,184</b>  |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>7,789,659</b>  | <b>純 資 産 の 部</b>       |                   |
| 投資有価証券          | 4,924,934         | <b>株 主 資 本</b>         | <b>18,298,209</b> |
| 関係会社株式          | 2,164,992         | 資本金                    | 1,570,641         |
| 従業員に対する長期貸付金    | 10,300            | 資本剰余金                  | 1,139,522         |
| 関係会社長期貸付金       | 480,000           | 資本準備金                  | 963,326           |
| 破産更生債権等         | 6,522             | その他資本剰余金               | 176,195           |
| 長期前払費用          | 7,134             | 利益剰余金                  | 16,006,204        |
| その他投資等          | 247,501           | その他利益剰余金               | 16,006,204        |
| 貸倒引当金           | △51,726           | 繰越利益剰余金                | 16,006,204        |
| <b>資 産 合 計</b>  | <b>26,748,177</b> | <b>自 己 株 式</b>         | <b>△418,158</b>   |
|                 |                   | 評価・換算差額等               | 582,432           |
|                 |                   | その他有価証券評価差額金           | 582,432           |
|                 |                   | <b>新 株 予 約 権</b>       | <b>239,351</b>    |
|                 |                   | <b>純 資 産 合 計</b>       | <b>19,119,992</b> |
|                 |                   | <b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b> | <b>26,748,177</b> |

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示をしております。

# 損 益 計 算 書

（ 2022年4月1日から  
2023年3月31日まで ）

(単位：千円)

| 科 目          | 金 額       |           |
|--------------|-----------|-----------|
|              | 内 訳       | 合 計       |
| 営業収益         |           | 5,028,306 |
| 営業費用         |           | 2,644,748 |
| 営業利益         |           | 2,383,557 |
| 営業外収益        |           |           |
| 受取利息         | 6,831     |           |
| 有価証券利息       | 212,801   |           |
| 受取配当金        | 26,012    |           |
| 固定資産賃貸料収入    | 1,250,984 |           |
| その他          | 170,562   | 1,667,192 |
| 営業外費用        |           |           |
| 支払利息         | 2,434     |           |
| 貸倒引当金繰入額     | 107,234   |           |
| 固定資産賃貸料原価    | 983,915   |           |
| その他          | 19,973    | 1,113,557 |
| 経常利益         |           | 2,937,191 |
| 特別利益         |           |           |
| 固定資産売却益      | 496       |           |
| 補助金収入        | 97,870    |           |
| 関係会社清算益      | 103,962   |           |
| その他          | 1,130     | 203,460   |
| 特別損失         |           |           |
| 固定資産売却損      | 9         |           |
| 固定資産圧縮損      | 97,870    |           |
| 関係会社株式評価損    | 65,000    | 162,880   |
| 税引前当期純利益     |           | 2,977,771 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 22,268    |           |
| 法人税等調整額      | 12,337    | 34,605    |
| 当期純利益        |           | 2,943,166 |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示をしております。

# 株主総会参考書類

## 第1号議案 定款一部変更の件

### 1. 提案の理由

今般、株主総会を場所の定めのない株主総会とすることが、株主の利益の確保に配慮しつつ産業競争力を強化することに資する場合として経済産業省令・法務省令で定める要件に該当することについて、経済産業大臣及び法務大臣の確認を受けた場合には、定款に、株主総会を場所の定めのない株主総会とすることができる旨を定めることができることとする法律（「産業競争力強化法等の一部を改正する等の法律」）が施行されました。当社は、株主総会は株主様との重要な接点であると認識しております。

しかし、感染症等の拡大や天災地変の発生により、株主総会開催時点においてもその影響が継続しているような場合を想定し、株主総会の場所を設けて株主総会を開催すること自体が、株主総会の開催方法として必ずしも最良の選択肢ではない場合が今後想定し得ると考えております。

そこで、本議案は、株主の皆様利益に照らして適切でないと当社が判断したときには、場所の定めのない株主総会を開催することができるよう、定款規定につき所要の変更をお願いするものであります。

なお、当社は、当該変更にあたり、経済産業大臣及び法務大臣によって、経済産業省令・法務省令で定める上記の要件に該当する旨の確認を受けております。

### 2. 変更の内容

変更の内容は、次のとおりであります。

（下線部分は変更箇所を示しております。）

| 現 行 定 款                                                                      | 変 更 案                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| (招集の時期)<br>第12条 当会社の定時株主総会は毎年6月にこれを招集し、臨時株主総会は必要ある場合、随時これを招集する。<br><br>(新 設) | (現行どおり)<br><br><u>② 当社は、株主総会を場所の定めのない株主総会とすることができる。</u> |

## 第2号議案 取締役6名選任の件

現在の取締役5名全員は本総会終結の時をもって任期満了となります。

つきましては、経営体制強化のため社外取締役を1名増員し、社外取締役3名を含む取締役6名の選任をお願いするものであります。なお、取締役候補者の指名に際しましては、当社の取締役会の諮問機関であり、委員の過半数を独立役員で構成する指名報酬委員会の答申を経ております。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号                                                                                                                          | ふりがな<br>氏名<br>(生年月日)                                                                                              | 略歴、当社における地位及び担当<br>【重要な兼職の状況】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 所有する当社の株式数 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 1                                                                                                                              | たまがみしんいち<br>玉上進一<br>(1955年11月26日生)<br>性別：男性<br><br><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再任</span> | 1976年4月 光伸株式会社入社<br>1986年10月 当社入社<br>1989年2月 当社代表取締役副社長<br>1995年6月 当社代表取締役<br>2007年10月 当社代表取締役兼代表執行役員<br>2010年7月 当社代表取締役<br>2014年4月 当社代表取締役兼社長執行役員、<br>海外事業本部長<br>2017年4月 当社代表取締役兼社長執行役員<br>2019年4月 当社代表取締役<br>2022年7月 <b>当社代表取締役社長執行役員グループCEO（現任）</b><br><br>【重要な兼職の状況】<br>株式会社メンバーズ 社外取締役監査等委員<br>株式会社イントラスト 取締役<br>株式会社プレステージ・コアソリューション<br>代表取締役 | 1,961,230株 |
| (取締役候補者とした理由)                                                                                                                  |                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |            |
| <p>玉上進一氏は、当社グループ全体において長年にわたり経営の指揮を執り、企業価値の向上に貢献しております。その実績、能力、各事業領域における企業経営者としての豊富な経験と共に人格、見識とも優れていることから、引き続き取締役候補者いたしました。</p> |                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |            |
| <p>(注) 1. 取締役候補者玉上進一氏は、当社の連結子会社である株式会社イントラストの取締役、株式会社プレステージ・コアソリューションの代表取締役を兼務しております。各社と当社の間には業務委託契約等に基づく取引関係があります。</p>        |                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |            |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ふりがな<br>氏名<br>(生年月日)                                                                                                                 | 略歴、当社における地位及び担当<br>【重要な兼職の状況】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 所有する当<br>社の株式数 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | せきねひろし<br>関根 浩<br>(1966年12月26日生)<br>性別：男性<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再任</div> | 1991年4月 東京生命保険相互会社（現T&Dフィナンシャル生命保険株式会社）入社<br>1999年11月 株式会社ワールドエアシステム（現エアプラス株式会社）入社<br>2000年10月 当社入社<br>2005年7月 当社第1事業部長<br>2008年4月 当社執行役員、国内第3事業部長<br>2009年4月 当社執行役員、第3事業部長<br>2009年6月 当社取締役兼執行役員、第3事業部長<br>2010年4月 当社取締役兼執行役員、プロパティアシスト事業部長<br>2010年7月 当社取締役、プロパティアシスト事業部長<br>2011年4月 当社取締役、プロパティアシスト事業部長<br>2014年4月 当社取締役兼執行役員、プレミアアシスト事業統括部長<br>2014年6月 当社取締役兼常務執行役員、プレミアアシスト事業統括部長<br>2015年4月 当社取締役兼常務執行役員、プロパティ事業統括部長<br>2017年4月 当社取締役兼常務執行役員<br>2019年4月 当社常務取締役<br>2019年10月 当社取締役<br>2022年7月 当社取締役専務執行役員（現任）<br><b>【重要な兼職の状況】</b><br>株式会社プレミアアシスト 取締役 | 63,659株        |
| <p>(取締役候補者とした理由)</p> <p>関根浩氏は、入社以来20年以上にわたり、現在の当社事業の大きな柱となる新分野の立上げの陣頭指揮を執り、当社及び子会社の取締役として経営に携わってまいりました。加えて、人格、見識とも優れており、当社グループにおける経営戦略の策定・推進に適切な人材であると判断したため、引き続き取締役候補者としていたしました。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(注) 2. 取締役候補者関根浩氏は、当社の連結子会社である株式会社プレミアアシストの取締役を兼務しております。同社と当社の間には業務委託契約等に基づく取引関係があります。</p> |                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                  | ふりがな<br>氏名<br>(生年月日)                                                                                                                                        | 略歴、当社における地位及び担当<br>【重要な兼職の状況】                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 所有する当<br>社の株式数 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 3                                                                                                                                          | よしだ な お<br>吉田 奈央<br>(1974年8月28日生)<br>(戸籍上の氏名：<br>中西 奈央)<br>性別：女性<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再任</div> | 1999年7月 当社グループ アメリカ法人入社<br>2000年7月 当社入社<br>2006年8月 第一事業部 業務管理課<br>2008年9月 海外関連事業部 営業チーム配属<br>2014年4月 海外アシスト事業部<br>営業企画グループ長<br>2018年4月 海外事業本部 海外事業部長代理<br>2019年4月 株式会社プレステージ・グローバル<br>ソリューション出向<br>営業企画部長<br>2020年7月 当社執行役員<br>2022年6月 当社取締役<br>2022年7月 <b>当社取締役執行役員（現任）</b><br>【重要な兼職の状況】<br>株式会社プレステージ・グローバルソリューション<br>取締役兼執行役員 | 9,012株         |
| <p>(取締役候補者とした理由)</p> <p>吉田奈央氏は、当社の従業員として子育てをしながら管理職としてのキャリアを担っておりますことから、当社が推進しております「女性活躍推進プロジェクト」のリーダーとして適任と判断したことから、引き続き取締役候補者いたしました。</p> |                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                |
| <p>(注) 3. 取締役候補者吉田奈央氏は、当社の連結子会社である株式会社プレステージ・グローバルソリューションの取締役に兼務しております。同社と当社の間には業務委託契約等に基づく取引関係があります。</p>                                  |                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                |



| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ふりがな<br>氏名<br>(生年月日)                                                                                                                             | 略歴、当社における地位及び担当<br>【重要な兼職の状況】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 所有する当<br>社の株式数 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | せきとしあき<br>関敏昭<br>(1958年3月27日生)<br>性別：男性<br><br><input type="checkbox"/> 再任<br><br><input type="checkbox"/> 社外<br><br><input type="checkbox"/> 独立 | 1980年4月 野村不動産株式会社入社<br>2007年3月 野村不動産株式会社 常務取締役<br>2007年4月 野村リビングサポート株式会社（現<br>野村不動産パートナーズ株式会社）<br>取締役社長（代表取締役）<br>2010年12月 野村不動産リフォーム株式会社<br>取締役社長（代表取締役）<br>2015年4月 野村不動産ウェルネス株式会社<br>取締役社長（代表取締役）<br>2015年6月 株式会社メガロス（現野村不動産ラ<br>イフ&スポーツ株式会社）<br>取締役<br>2018年4月 野村不動産ホールディングス株式会社<br>取締役副社長（代表取締役）<br>兼副社長執行役員<br>NFパワーサービス株式会社<br>取締役社長（代表取締役）<br>2021年4月 野村不動産ホールディングス株式会社<br>取締役<br>野村不動産ホテルズ株式会社<br>取締役<br>2021年6月 野村不動産ホールディングス株式会社<br>参与<br>2022年6月 当社社外取締役（現任）<br>【重要な兼職の状況】<br>株式会社プレミアアシスト 社外取締役<br>株式会社ディア・ライフ 社外取締役 | 1,707株         |
| <p>(社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要)</p> <p>関敏昭氏は、特に不動産業界において豊富な経験と幅広い見識を有していることに加え、企業経営者としての豊富な知見を有していることから、経営者として、取締役の職務の執行の監督機能のために社外取締役として選任をお願いするものであります。</p> <p>また、同氏には当社の取締役会の諮問機関である指名報酬委員会の委員として、客観的・中立的立場で当社の役員候補者の選定や役員報酬等の決定について関与、監督等をいただくことを期待しております。</p> <hr/> <p>(注) 4. 関敏昭氏の社外取締役の在任期間は、本総会終結の時をもって1年であります。</p> <p>5. 当社は関敏昭氏との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項に関する責任について定款に従い責任限度額を1,000万円以上であらかじめ定めた額又は法令が規定する額のいずれか高い額とする責任限定契約を締結しております。同氏が再任された場合には、同氏との間で当該契約を継続する予定であります。</p> <p>6. 当社は、関敏昭氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。同氏の再任が承認された場合には、引き続き独立役員とする予定であります。</p> <p>7. 関敏昭氏は、当社の連結子会社である株式会社プレミアアシストの社外取締役（非業務執行役員）であります。</p> |                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                |

| 候補者番号                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ふりがな<br>(生年月日)                                                                                                                                                               | 略歴、当社における地位及び担当<br>【重要な兼職の状況】                                                                                                                                                                              | 所有する当社の株式数 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | たかぎ いづみ<br>高木 いづみ<br>(1975年3月29日生)<br>(戸籍上の氏名:<br>神門 いづみ)<br>性別: 女性<br><br><input type="checkbox"/> 新任<br><br><input type="checkbox"/> 社外<br><br><input type="checkbox"/> 独立 | 1999年4月 第一東京弁護士会に弁護士登録<br>2004年6月 堀裕法律事務所(現堀総合法律事務所)入所<br>2007年6月 当社社外監査役(現任)<br>2017年2月 公認不正検査士(CFE)登録<br><br><b>【重要な兼職の状況】</b><br>堀総合法律事務所 パートナー弁護士<br>公益財団法人日本ラグビーフットボール協会<br>社外理事<br>株式会社スピークバディ 社外監査役 | 12,526株    |
| <p>(社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要)</p> <p>高木いづみ氏は、現在当社の社外監査役であり、その在任期間は、本総会終結の時をもって16年となります。同氏は、社外監査役在任期間において、弁護士としての豊富な知識や経験に基づき、独立した立場から活発に意見を述べ、その職責を十分に果たしていただいております。本定時株主総会終結の時をもって任期満了により退任する予定であります。また、同氏は監査を通じて当社の業務内容に精通していることから、今後はその豊富な知識や経験を活かして専門的な観点から取締役の職務執行に対する監督、助言等をいただくことを期待したため、社外取締役として選任をお願いするものであります。</p> <p>また、同氏には当社の取締役会の諮問機関である指名報酬委員会の委員として、客観的・中立的立場で当社の役員候補者の選定や役員報酬等の決定について関与、監督等をいただくことを期待しております。</p> <p>なお、同氏は、社外役員となること以外の方法で企業経営に関与された経験はありませんが、上記の理由により、社外取締役としての職務を適切に遂行いただけるものと判断しております。</p> |                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                            |            |
| <p>(注) 8. 当社は、高木いづみ氏との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項に関する責任について定款に従い責任限度額を1,000万円以上であらかじめ定めた額又は法令が規定する額のいずれか高い額とする責任限定契約を締結しております。同氏が社外取締役に選任された場合には、同様の契約を締結する予定であります。</p> <p>9. 高木いづみ氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員としての要件を満たしており、同氏の選任が承認された場合には、独立役員として指定する予定であります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                            |            |

| 候補者<br>番号 | ふ り が な<br>氏 (生年月日)                                                                                                                                                          | 略歴、当社における地位及び担当<br>【重要な兼職の状況】                                                                                                                     | 所有する当<br>社の株式数 |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 6         | こ えだ まさ よ<br>小 枝 雅 与<br>(1964年1月8日生)<br>(戸籍上の氏名：<br>長谷川雅与)<br>性別：女性<br><br><input type="checkbox"/> 新任<br><br><input type="checkbox"/> 社外<br><br><input type="checkbox"/> 独立 | 1986年4月 圭三プロダクション 所属<br>1989年4月 株式会社トレインインターナショナル<br>入社<br>1993年4月 同社 取締役<br>2000年4月 株式会社トレイン 取締役<br><br>【重要な兼職の状況】<br>株式会社トレイン<br>エグゼクティブ ディレクター | -株             |

(社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要)

小枝雅与氏は、パブリシティ活動について豊富な知見を有していることに加え、企業経営者としての知見も有していることから、経営者として、取締役の職務の執行の監督機能のために社外取締役として選任をお願いするものであります。

また、当社の目指す「社会貢献」や重要施策である「健康経営」、「女性活躍推進」に向けての環境構築に関して、女性経営者の視点からの助言、提案等をいただくことを期待しております。

- (注) 10. 小枝雅与氏の選任が承認された場合、当社は同氏との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項に関する責任について定款に従い責任限度額を1,000万円以上又は法令が規定する額のいずれか高い額とする責任限定契約を締結する予定であります。
11. 小枝雅与氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員としての要件を満たしており、同氏の選任が承認された場合には、独立役員として指定する予定であります。

(注) 12. 取締役候補者玉上進一氏、取締役候補者関根浩氏、取締役候補者吉田奈央氏を除く取締役候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。当社と取締役候補者玉上進一氏、取締役候補者関根浩氏、取締役候補者吉田奈央氏との間の利害関係については、(注) 1、2及び3に記載のとおりであります。

13.  再任 : 再任取締役候補者  
 新任 : 新任取締役候補者  
 社外 : 社外取締役候補者  
 独立 : 東京証券取引所の定めに基づく独立役員

14. 当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、当該保険契約の概要は、事業報告「2. (2)③役員等賠償責任保険契約の内容の概要」に記載のとおりです。取締役候補者の選任が承認されますと、引き続き当該保険契約の被保険者に含まれることとなります。また、当該保険契約は次回更新時においても同内容での更新を予定しております。
15. 各候補者の所有する当社の株式の数には、プレステージ・インターナショナル役員持株会における本人持分を含めて記載しております。

[ご参考] 本定時株主総会後の当社取締役（予定）の構成比

|         | 性別 | 人数（名） | 構成比（%） |
|---------|----|-------|--------|
| 取締役     | 男性 | 3     | 50     |
|         | 女性 | 3     | 50     |
|         | 合計 | 6     | 100    |
| 独立社外取締役 | 男性 | 1     | 17     |
|         | 女性 | 2     | 33     |
|         | 合計 | 3     | 50     |

### 第3号議案 監査役3名選任の件

監査役4名のうち高木いづみ（戸籍上の氏名：神門いづみ）、原勝彦の2氏が、本総会終結の時をもって任期満了となります。

また、監査役石野豊氏は、本総会終結の時をもって辞任いたします。

つきましては、監査役3名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | ふりがな氏名<br>(生年月日)                                                              | 略歴、当社における地位及び担当<br>【重要な兼職の状況】                                                                                                                                         | 所有する当社の株式数 |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 1     | すぎやま まさる<br>杉山 将<br>(1964年3月29日生)<br>性別：男性<br><br><input type="checkbox"/> 新任 | 2005年12月 当社入社<br>2015年10月 当社保険CRM事業部 事業部長代理<br>2019年4月 株式会社プレスステージ・コアソリューション<br>ーション出向 第六事業部長<br>2022年11月 当社内部監査室所属<br><br>【重要な兼職の状況】<br>株式会社プレスステージ・コアソリューション<br>監査役 | 20,802株    |

(監査役候補者とした理由)

杉山将氏は、入社以来、当社グループの複数のコンタクトセンターにおいて業務に従事した経験があり、当社事業における豊富な知識と経験を有しているため、それらを当社の監査に生かすことで実効性の高い監査ができると判断し、選任をお願いするものであります。

|   |                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                           |    |
|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 2 | はら かつひこ<br>原 勝彦<br>(1955年7月7日生)<br>性別：男性<br><br><input type="checkbox"/> 再任<br><br><input type="checkbox"/> 社外<br><br><input type="checkbox"/> 独立 | 1983年2月 公認会計士 登録<br>1984年3月 昭和監査法人 入所<br>1996年5月 新日本有限責任監査法人社員<br>2002年5月 同法人代表社員<br>2018年6月 同法人退所<br>2018年7月 原勝彦公認会計士事務所 開設<br>2019年6月 当社社外監査役(現任)<br><br>【重要な兼職の状況】<br>原勝彦公認会計士事務所 公認会計士<br>伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 社外監査役<br>株式会社大泉製作所 社外監査役 | -株 |
|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|

(社外監査役候補者とした理由)

原勝彦氏は、公認会計士として長年にわたり会計監査、内部統制構築支援等の業務に従事し、企業会計・監査・内部統制の分野において豊富な知識と経験を有しており、これらを当社の監査に生かしていただきたいため、引き続き社外監査役候補者として選任をお願いするものであります。

- (注) 2. 原勝彦氏は、現在、当社の社外監査役であります。監査役の在任期間は、本総会終結の時をもって、4年になります。
3. 原勝彦氏との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項に関する責任について定款に従い責任限度額を1,000万円以上であらかじめ定めた金額又は法令が規定する額のいずれか高い額とする責任限定契約を締結しております。同氏が再任された場合には、同氏との間で当該契約を継続する予定であります。
4. 当社は、原勝彦氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。なお、同氏の再任が承認された場合には、引き続き独立役員とする予定であります。
5. 原勝彦氏には当社の取締役会の諮問機関である指名報酬委員会の委員として、客観的・中立的立場で当社の役員候補者の選定や役員報酬等の決定について関与、監督等をいただくことを期待しております。

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                                    | ふりがな<br>氏名<br>(生年月日)                                                                                                                             | 略歴、当社における地位及び担当<br>【重要な兼職の状況】                                                                                                                                                                                        | 所有する当<br>社の株式数 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 3                                                                                                                                                                                                                            | おの まさる<br>小野 傑<br>(1953年6月1日生)<br>性別：男性<br><br><input type="checkbox"/> 新任<br><br><input type="checkbox"/> 社外<br><br><input type="checkbox"/> 独立 | 1978年4月 東京弁護士会に弁護士登録<br>1983年6月 ニューヨーク州弁護士資格取得<br>1984年2月 西村真田法律事務所(現 西村あさひ法律事務所)入所<br>1985年7月 同事務所パートナー<br>2007年7月 同事務所代表パートナー<br>【重要な兼職の状況】<br>西村あさひ法律事務所 オブカウンセル<br>大同生命保険会社 社外取締役<br>横河電機株式会社 社外監査役<br>東京大学 客員教授 | -株             |
| (社外監査役候補者とした理由)<br>小野傑氏は、弁護士として企業法務やファイナンス分野の豊富な知見を有しており、教育界や他社における役員の経験等による幅広い活動に基づく高い見識を当社監査体制の強化に生かしていただきたいため、社外監査役として選任をお願いするものであります。                                                                                    |                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                      |                |
| (注) 6. 小野傑氏が選任された場合、当社は同氏との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項に関する責任について定款に従い責任限度額を1,000万円以上であらかじめ定めた金額又は法令が規定する額のいずれか高い額とする責任限定契約を締結する予定であります。<br>7. 小野傑氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員としての要件を満たしており、同氏の選任が承認された場合には、独立役員として指定する予定であります。 |                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                      |                |

(注) 8. 各候補者と当社の間には、特別の利害関係はありません。

9.  再任 : 再任監査役候補者

新任 : 新任監査役候補者

社外 : 社外監査役候補者

独立 : 東京証券取引所の定めに基づく独立役員

10. 当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、当該保険契約の概要は、事業報告「2.(2)③役員等賠償責任保険契約の内容の概要」に記載のとおりです。監査役候補者の選任が承認されずと、引き続き当該保険契約の被保険者に含まれることとなります。また、当該保険契約は次回更新時においても同内容での更新を予定しております。

11. 各候補者の所有する当社の株式の数には、プレステージ・インターナショナル役員持株会及び従業員持株会における本人持分を含めて記載しております。

[ご参考] 本定時株主総会後の当社役員（予定）のスキルマトリックス

|     |                         | 1              | 2        | 3         | 4         | 5     | 6      | 7    | 8            | 9        | 10         |
|-----|-------------------------|----------------|----------|-----------|-----------|-------|--------|------|--------------|----------|------------|
|     |                         | 企業経営           | 組織マネジメント | グローバルビジネス | 新規事業戦略/営業 | 財務・会計 | テクノロジー | 人財開発 | 法務・リスクマネジメント | サステナビリティ | 内部統制/ガバナンス |
| 取締役 | 代表取締役<br>玉上 進一          | ○              | ○        | ○         | ○         |       |        |      |              | ○        | ○          |
|     | 取締役<br>関根 浩             | ○              | ○        |           | ○         |       |        |      |              |          |            |
|     | 取締役<br>吉田 奈央            |                | ○        | ○         | ○         |       |        |      |              |          |            |
|     | 取締役（社外）<br>関 敏昭         | ○              | ○        |           |           |       |        | ○    |              |          |            |
|     | 新任<br>取締役（社外）<br>高木 いづみ |                |          |           |           |       |        |      | ○            |          | ○          |
|     | 新任<br>取締役（社外）<br>小枝 雅与  | ○              |          |           | ○         |       |        | ○    |              | ○        |            |
|     | 監査役                     | 常勤監査役<br>吉田 範夫 |          | ○         | ○         |       |        |      | ○            |          |            |
|     | 新任<br>常勤監査役<br>杉山 将     |                | ○        |           | ○         |       |        |      |              |          |            |
|     | 監査役（社外）<br>原 勝彦         |                | ○        | ○         |           | ○     |        |      |              |          | ○          |
|     | 新任<br>監査役（社外）<br>小野 傑   |                |          | ○         |           |       |        |      | ○            | ○        | ○          |

【必要知識・経験項目】

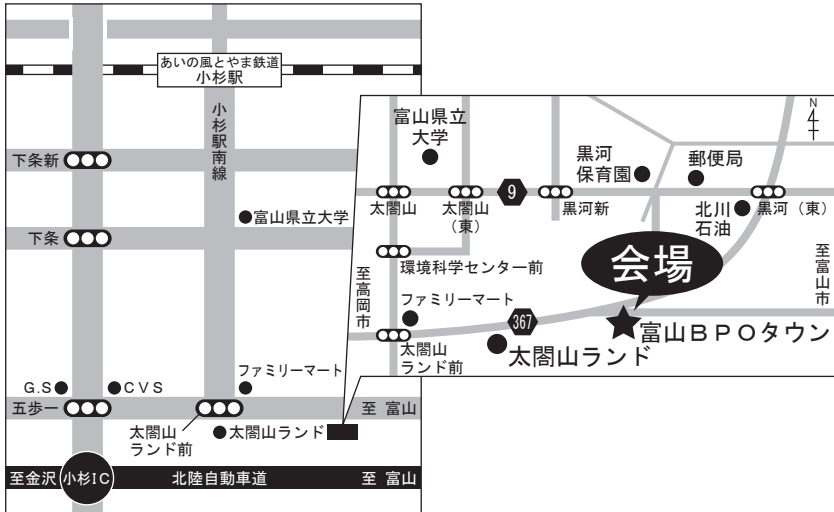
1. 当社グループの幅広い事業領域を見通すにあたり必要となる企業経営の経験
2. 当社グループBPO事業を運営するにあたり必要となる組織マネジメントの経験
3. 現在18か国26拠点のグローバルネットワークを展開している当社グループにおいて必要となる海外事業展開に対応できるグローバルビジネスの経験
4. 幅広い分野において事業を展開し、成長することを目指す当社グループにおいて必要となる新規事業戦略/営業の経験
5. 事業運営及び執行状況を適切に把握するための財務・会計の知識
6. BPO事業において、エンドユーザーへ有効かつ効率的にサービスを展開するためのIT、デジタル活用に関する知識
7. 当社グループの将来的、持続的な成長を実現するための人財開発に関する知識と経験
8. 当社グループの事業成長において、リスクを最小化するための法務・リスクマネジメントに関する知識
9. 当社グループの基本戦略である「地域社会への貢献」を実現させるためのサステナビリティに関する知識・経験
10. 当社グループにおける業務執行状況を適切に監督・監査し適切な事業運営をするための内部統制/ガバナンスの知識

(注) 「6. テクノロジー」に該当役員がおりませんが、当社グループにおける「PI-DXモデルの創造」については、重要な課題として認識しております。そのため、ITシステムの企画・開発・運用及び保守を行う連結子会社であった株式会社プレミアムビジネステクノロジーの機能を当社へ移管し、テクノロジーに関する体制強化と品質向上を図っております。

以上

# 株主総会会場ご案内図

会場 富山県射水市黒河846-1  
当社 富山BPOタウン トレーニングルーム  
電話 (0766) 57-3000  
※受付開始時刻は午前10時30分を予定しております。



## [交通のご案内]

富山空港から車で約25分  
J R 富山駅から車で30分  
あいの風とやま鉄道線 小杉駅から車で約10分

## —お車でのご越しの場合—

当日は株主様専用の駐車スペースを会場横にご用意しております。

総会当日はご自身の体調をご確認のうえ、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

